

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
12	長谷川祐司（4）	<p>1. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について</p> <p>富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況については、同じ項目での一般質問を令和元年9月定例会の場でお聞きいたしました。</p> <p>質問として、過去に防災避難訓練や来庁者の避難誘導訓練は実施されているのか、市の職員1人1人に各自が取るべき行動は周知されているかをお聞きいたしました。</p> <p>市長答弁では、庁舎管理を行う資産経営課職員など限られた職員で避難誘導、消火訓練を行ってきたが、来庁者も含めた全庁規模で実践的な避難誘導訓練などは実施したことはなく、このことは、従前からの課題として感じていたが、来庁者1人1人への周知が困難なことや、通常業務への影響に対する懸念もあり、実施に至っていなかった。また、近年、地震や台風、異常気象などの災害が多発していることから、職員が来庁者の避難誘導など、発災時に的確な対応が取れるよう備えておくことが重要であると認識しているため、まずは、自衛消防組織の各隊長から班員までを対象とした訓練を実施し、その役割を周知徹底した上で、訓練対象を徐々に広げていきたいと考えているとの前向きな答弁をいただきました。</p> <p>また、その後、令和2年2月定例会の一般質問の場で、自衛消防組織の隊長から班員までを対象とした訓練の進捗と市職員が自身の安全を確保しつつ、来庁者の避難誘導等、果たすべき役割の実践に向けて、避難経路、避難場所の周知はできたのか質問をさせていただきました。</p> <p>その際の答弁では、市庁舎の各棟の階ごとに隊を編成し、初期消火班や避難誘導班を配置している。訓練については有資格者の確保や夜間の対応など、組織としての課題が判明したことや来庁者への対応についても検討が必要なことから、実施日時、訓練要員の範囲など、関係各課と調整協議を進め、新年度のできるだけ早い時期に避難訓練を実施したいと考えている。また、各職員が自衛消防組織として果たすべき役割について認識し、庁舎内の全ての人に対し避難誘導などを確実に実行できるよう訓練を実施していくとの回答でした。</p> <p>その後、2年4か月が経過しておりますので、改めて現在の進捗状況について確認させていただきたいと思っております。</p> <p>(1) 自衛消防組織の隊長から班員までを対象とした訓練の実施状況はいかがでしょうか。</p> <p>(2) 自衛消防組織の役割を周知徹底した上で訓練対象を徐々に広げていくとのことでしたが、現在、訓練対象はどこまで広がっていますでしょうか。</p> <p>(3) 今後、来庁者の誘導や自力での避難が困難になる方への対応も含めて、庁舎内で働く方々1人1人への役割の周知徹底をしていく訓練計画はできていますでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長